

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス



平成 28 (2016) 年 2 月 25 日

第 9 号

発行 (株)ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒 136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供しています。

中央教育審議会
特別支援教育部会

知的障害のある児童生徒のための 各教科の改善について意見交換

●インクルーシブ教育の実現に向けて

中教審・初等中等教育分科会教育課程部会の下に設置された「特別支援教育部会」(主査: 宍戸和成・独立行政法人国立特別支援教育総合研究所理事長)の第6回会合が、2月22日、文部科学省で開催された。

同部会は、小・中・特別支援学校長、教育委員会教育支援担当課長、大学教授、医師、こども発達支援センター長ら20名の委員で構成。「全ての学校や学級に、発達障害を含めた障害のある子供たちが在籍する可能性があることを前提として、一人一人の子供の状況や発達の段階に応じた十分な学びを確保し、障害のある子供たちの自立や社会参画に向けた主体的な取組を支援するという視点」に立ち、通常学級、通級指導、特別支援学級、特別支援学校それぞれにおける教育の在り方について検討中だ。

今次改訂の背景には、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の制定(平成25年6月。施行は本年4月)、「障害者の権利に関する条約」の批准(平成26年1月)等の動きにみられるように、障害に基づくあらゆる差別を禁止し、障害者が社会に参加し包容されるための仕組みづくりを行おうという国際的潮流がある。また、平成32年の東京オリンピック・パラリンピック開

催を視野に入れ、共生社会の形成、障害者理解の促進を図っていくことも要請されている。

こうした流れの中で、「インクルーシブ教育システム」の構築—障害のある人とない人が共に生活し共に学ぶこと、個別の教育的ニーズを必要とする人に「合理的配慮」が提供されること、連続性のある「多様な学びの場」を整えること等—が求められており、次期教育課程でその実現をどう図るか、同部会において議論が重ねられてきた。

22日会合では、特別支援学校における知的障害のある児童生徒のための教育課程について意見交換が行われた。「知的障害をもつ子の学習上の特性(知識や技能が断片的になりやすい、実生活に応用されにくい等)を必ずしもネガティブに捉えてはいけない。知的障害をもつ子の学習にこそアクティブ・ラーニングの可能性が広がっている」「選挙権年齢引き下げや成年後見制度改正の動きなど社会の変化を踏まえ、卒業後の姿を見通したキャリア発達支援を行っていく必要がある」「特別支援教育においてこそ、資質・能力の三つの柱にそって育てたい力を個別にきめ細かく設定、評価していくべき」等の意見が交わされた。このほか、知的障害のある児童生徒のための教科書が現場では十分に活用されていないという指摘や、幼・小・中・高の指導要領と特別支援学校の指導要領の関連性の明確化と柔軟な相互乗り入れを可能とする記述を求める声が上がった。

今回は4月開催予定。総則・評価特別部会や学校種別のワーキンググループ等の審議内容も踏まえ、学校種間の教育課程の接続に焦点を当て検討が行われる見込みだ。

学力向上と信頼構築

相互関係から探る学校経営方策

愛媛大学教育学部教授 露口健司〔編著〕

B5判・定価(本体2,400円+税)

学力の向上は、保護者・地域との信頼関係にどう影響するか。
信頼の構築は、児童生徒の学力に何をもたらすか。

- その相関関係を数値化して検証。学力調査や保護者信頼度調査の分析結果をもとに、これからの学校経営の視点を示します。
- 「学力向上を通じ信頼を得る」方法と「信頼関係醸成を通じ学力向上を図る」方法。各アプローチについて、近年学力が上昇傾向にある愛媛県を例に小中7校の取組を紹介します。



子どもと創る授業

学びを見とる目、深める技

上智大学教授 奈須正裕〔著〕

A5判・定価(本体2,000円+税)

学びの主体は「子ども」——。
そこに立ち戻れば授業はこんなにも面白くなる!

これまで以上に授業力の向上が求められる教師・学校に向けて、今後の授業づくりの要諦をわかりやすく解説。実践力向上のヒントが満載です。

- 「活用」「探究」「言語活動」。新指導要領での授業づくりがわかる!
- 教室に学びを起こす33の着想と実践を提案!
- 教師としての成長を実現できる授業の技を指南!



今日の話・題

2月 ◆25日 フィリピン、マルコス政権崩壊、コラソン・アキノ大統領就任宣言(1986)
◆26日 ニ・二六事件(1936) ◆27日 新撰組の日 ◆28日 ビスケットの日 ◆29日 ニンニクの日

3月 ◆1日 第五福竜丸、ビキニ環礁水爆実験で被爆(1954) ◆2日 ミニチュアの日

◆3日 桃の節句・ひな祭り/耳の日 ◆4日 ミシンの日/雑誌の日 ◆5日 珊瑚の日/『窓際のトットちゃん』初版発行、戦後最大のベストセラーに(1981) ◆6日 弟の日/世界一周

記念日 ◆7日 消防記念日 ◆8日 みやげの日/国際女性デー ◆9日 記念切手の日/雑穀の日 ◆10日 東京都平和の日/砂糖の日 ◆11日 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生(2011) ◆12日 奈良・東大寺、お水取り ◆13日 青函トンネル開業記念日 ◆14日 数学の日(円周率3.14...) ◆15日 靴の日/世界消費者権利デー

●●○ 2/25 ~ 3/15 生まれの著名人〔敬称略〕 ○●●

2月 植木等(25日)、寺脇康文(25日)、岡本太郎(26日)、桑田佳祐(26日)、エリザベス・テラー(27日)、徳永英明(27日)、田原俊彦(28日)、菊川怜(28日)、原田芳雄(29日)、赤川次郎(29日)

3月 芥川龍之介(1日)、五郎丸歩(1日)、ミハイル・ゴルバチョフ(2日)、優木まおみ(2日)、グラハム・ベル(3日)、ジコ(3日)、佐野史郎(4日)、有島武郎(4日)、熊川哲也(5日)、松山ケンイチ(5日)、大岡昇平(6日)、宮本輝(6日)、安部公房(7日)、オール阪神(7日)、水木しげる(8日)、大沢在昌(8日)、梅原龍三郎(9日)、梶田隆章〔ノーベル物理学賞受賞〕(9日)、渥美清(10日)、松田聖子(10日)、大隈重信(11日)、大沢たかお(11日)、勝海舟(12日)、やくみつる(12日)、高村光太郎(13日)、吉永小百合(13日)、アインシュタイン(14日)、五木ひろし(14日)、平岩弓枝(15日)、武豊(15日)



●学校の先生方のお仕事に関わるニュースや話題をお届けする「きょういくプレス」。第9号はいかがでしたでしょうか。●中教審教育課程部会に設置された各ワーキンググループ・部会はそれぞれ月1、2回のペースで審議を重ねています。今号では、特別支援教育部会の最新会合

の内容をご紹介しました。今回の改訂ではインクルーシブ教育の実現が重視されています。今後も動向を追って随時ご紹介していきます。●「きょういくプレス」無料メール配信サービスのお申込みを承り中です。上のQRコードから登録サイトへ簡単にアクセスいただけますので、ぜひお申し込みください。



●ご注文・お問い合わせ先

(株)ぎょうせい
フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Webサイト <http://gyosei.jp>
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者